

# 日本簿記学会ニュース

No. 56:12 / 2013

## 《大会の経過報告》

第29回全国大会は、平成25年8月30日(金)から9月1日(日)に立教大学(準備委員長:倉田幸路氏)にて、開催されました。詳しい内容は本紙全国大会記をご覧ください。

## 《大会・部会のご案内》

第30回関西部会は、平成26年6月14日(土)に広島修道大学(準備委員長:中田清氏)にて、第30回関東部会は、平成26年6月中旬に全国経理教育協会(準備委員長:中島利郎氏)にて、第30回全国大会は、平成26年8月28日(金)から8月30日(日)に神戸大学(準備委員長:中野常男氏)にて各々開催される予定です。

## 《第29回全国大会正会員出席者状況》

第29回全国大会への正会員の出席者の状況は以下の通りでした。

	全	体	大学関係者	高等学校	専門学校	職業会計人	その他
参加者数	210名	168名	23名	2名	14名	3名	
比率	100.0%	80.0% <sup>(注)</sup>	11.0%	1.0%	6.7%	1.4%	

(注) 各区分の比率を小数点第1未満で四捨五入しているため、僅少差0.1%が生じておりますが、便宜上、表示しておりません。

## 《平成26・27年度研究部会の募集》

平成26・27年度の簿記理論研究部会、簿記実務研究部会、簿記教育研究部会を下記の通り募集いたします。申し出は、研究テーマ・メンバーを明記の上、事務局宛にお願いいたします。締切は、平成26年3月31日です。

- (1) 研究期間は、第30回全国大会(平成26年)会員総会承認から2年です。
- (2) 研究成果の報告は、1年経過後の第31回全国大会(平成27年)における中間報告および第32回全国大会(平成28年)における最終報告の2回となります。
- (3) 研究成果につきましては冊子を作成いただきます。
- (4) 研究部会費は1部会200,000円(年間)です。
- (5) 研究部会メンバーは当学会会員とします。
- (6) 研究部会メンバーの人数に制限はありません。

## 《選挙管理委員会》

平成25年8月31日(土)に開催された第29回全国大会会員総会において、第30回全国大会時に行われる役員選挙に向けて、選挙管理委員会が設置されることが報告されました。委員会のメンバーは以下のとおりです。なお、委員長には田中建二氏が選任されました。

選挙管理委員：浦崎直浩(近畿大学) 粕谷和生(横浜市立横浜商業高等学校) 河崎照行(甲南大学)  
瀧田輝己(同志社大学) 田中建二(明治大学)

幹事：清水泰洋(神戸大学) 中村亮介(筑波大学) 和田博志(近畿大学)  
渡邊貴士(亜細亜大学短期大学部) 渡辺雅雄(明治大学)

## 《平成 24・25 年度研究部会のメンバーの追加》

平成 24・25 年度研究部会のメンバーが追加されました。

### 簿記理論研究部会

「会計概念フレームワークと簿記」部会長：岩崎 勇（九州大学）

委 員：小形健介（長崎県立大学）

### 簿記教育研究部会

「大学における簿記教育の問題点の整理と対策案の提示」部会長：千葉啓司（千葉商科大学）

交 代：桑原常明（松蔭大学）→桑原正行（駒澤大学）

委 員：菅田直也（森山書店）溝上達也（松山大学）山添昌彦（松本大学松商短期大学部）

山浦弘照（実教出版）

オブザーバー：新田忠誓（帝京大学）

### 簿記実務研究部会

「新会計基準における簿記処理の検討」部会長：岩崎健久（帝京大学）

委 員：木村将之（監査法人トーマツ）末川 修（公認会計士）中村亮介（帝京大学）

西館 司（愛知学院大学）橋本武久（京都産業大学）藤井禎晃（監査法人トーマツ）

吉田智也（埼玉大学）

オブザーバー：新田忠誓（帝京大学）

研究協力者：金子善行（一橋大学大学院）

「業種別簿記実務の研究」部会長：成川正晃（高崎商科大学）

委 員：工藤栄一郎（熊本学園大学）飛田 努（福岡大学）中井雄一郎（熊本学園大学）

オブザーバー：井上定子（流通科学大学）

## 《日本簿記学会会則等改正について》

改正の趣旨

1. 英字表記の学会名を追加する。
2. 学会誌執筆者の資格を明確にする。

改正案	現行
<p>日本簿記学会会則</p> <p>昭和 60 年 10 月 12 日制定 平成 25 年 8 月 31 日最終改正</p> <p>(名称)</p> <p>第 1 条 本会は、日本簿記学会 <u>The Japan Boki Association (Accounting Theory, Education, and Practice Association)</u> と称する。</p>	<p>日本簿記学会会則</p> <p>昭和 60 年 10 月 12 日制定 平成 24 年 9 月 9 日最終改正</p> <p>(名称)</p> <p>第 1 条 本会は、日本簿記学会と称する。</p>
改正案	現行
<p>学会誌編集委員会運営規定</p> <p>平成 7 年 10 月 28 日制定 平成 25 年 8 月 31 日最終改正</p> <p>(執筆者の資格)</p> <p>第 4 条 学会誌への投稿者全員は、<u>投稿年度までの会費を納入した本学会の会員に限る。ただし、編集委員会が認める場合はその限りでない。</u></p>	<p>学会誌編集委員会運営規定</p> <p>平成 7 年 10 月 28 日制定 平成 21 年 8 月 26 日最終改正</p> <p>(執筆者の資格)</p> <p>第 4 条 学会誌への投稿は、<u>本学会の会員に限る。ただし、編集委員会が認める場合はその限りではない。</u></p>

## 《平成25年度日本簿記学会学会賞および奨励賞について》

日本簿記学会学会賞審査委員会は、平成25年度の日本簿記学会学会賞および奨励賞を次のように決定した。その授賞理由は、次のとおりである。

### 学会賞：上野清貴 監修『簿記のススメ—人生を豊かにする知識—』（創成社，2012年5月）

本書は、国民すべてが簿記を修得することの意義を具体化したものである。プロローグ、第1部「簿記のススメ」、第2部「簿記教育のむかし」および第3部「簿記教育のいま」からなり、プロローグでは会計専門家ではない著名人のインタビューに基づく「簿記を知ることによる成功体験」が紹介され、第1部は身近な「お金」のはなしを題材にとりながら、初学者を興味深く簿記の世界に導く試みがなされている。さらに、第2部で、明治から大正、昭和にわたり日本で実施された簿記教育が興味深く明らかにされ、最後に第3部で、日本だけでなく米国における簿記テキストの分析や簿記のコンピューターとの関わりが分析されている。プロローグと第1部からは、本書が“研究報告書”の域を超え、簿記初学者を対象とした“簿記への招待状”と生まれ変わっていると見え、さらに第2部と第3部からは、地道な研究に裏打ちされた“研究報告書”としても一定の水準を充たすものと評価できる。

また、すべての人々が「簿記の役立ちを知る機会を設ける」という提言に照らして、その実践への試みが成功しているかは、慎重に評価する必要があるものの、むしろ本書は、本学会の他の会員に、簿記の普及が喫緊の課題であることを明示したという点で、今後の本学会の発展の一つの方向性を提示していることも評価した。

以上の理由から、本書は学会賞に値するものと判断した。

### 奨励賞：吉田智也（埼玉大学）「公会計から見た簿記の可能性」『日本簿記学会年報』

本稿は、政府組織に対する会計である「公会計」から見た簿記の可能性について検討を加えたものである。簿記離れが進む現状を踏まえ、新たな簿記に対する社会的ニーズとして公会計への複式簿記の利用を論じている。その際、米国の公認会計士試験における公会計関係の出題内容を題材として、年次予算や租税による歳入に関する簿記処理の検討を通じて、複式簿記の適用可能性を探っている。その結果、公会計に固有の勘定科目などはあるものの、総勘定元帳の勘定記録から誘導的に財務諸表が作成される基本的な仕組みは企業会計のそれとなんら変わるところがない点を明らかにし、公会計にとどまらず、他の分野への応用こそが簿記の可能性を高めることになると指摘している。

本稿は、単に抽象的な議論にとどまらず、具体的な簿記処理（仕訳）を通じて簿記の可能性に検討を加えており、そのような研究姿勢は、今後更なる発展が期待されるとして、奨励賞に値するものと判断した。

日本簿記学会学会賞審査委員会 委員長：佐藤信彦

## 《日本簿記学会学会賞審査委員会からのお願い》

学会賞審査委員会では、会員の皆様からの学会賞候補にふさわしい著書等のご推薦をお願いいたします。推薦にあたっては、推薦書に推薦理由をご記入の上、学会事務局までお送り下さい。この推薦書は学会ホームページよりダウンロードすることができます。また、推薦書籍・資料については5部提出するようお願い致します。

日本簿記学会学会賞審査委員会

## 日本簿記学会第29回全国大会記

立教大学 倉田幸路  
準備委員長

日本簿記学会第29回全国大会は、8月30日（金）から9月1日（日）までの3日間にわたり立教大学池袋キャンパスで開催されました。現代における取引概念の拡大に伴い簿記の重要性はますます増加する中で、理論、制度、教育、歴史等さまざまな観点から現代的意義を問い直すという意図のもと、統一論題は座長に佐藤信彦先生（熊本学園大学）を迎え、テーマを「簿記の現代的課題－取引概念の拡大と簿記の役割－」としました。連日30度を大きく超える猛暑の中参加していただいた、およそ250名の会員の皆様（CPEの研修のため参加された公認会計士の皆様を含む）に心より感謝いたします。

8月30日は午後学会賞審査委員会および理事会が開催されました。

31日の午前中には恒例となっています高校簿記教育懇談会が開催されました。午後から会員総会のあと5つの研究部会の中継報告が行われました。前半は、河崎照行先生（甲南大学）を司会として、①簿記理論研究部会「会計概念フレームワークと簿記」部会長岩崎勇先生（九州大学）、②簿記教育研究部会「大学における簿記教育の問題点の整理と対策案の提示」部会長千葉啓司先生（千葉商科大学）、③簿記教育研究部会「ICTを利活用した大学間連携による簿記会計教育の研究」部会長高橋和幸先生（下関市立大学）の3つの部会報告が行われ、引き続き後半は、泉宏之先生（横浜国立大学）を司会として、④簿記実務研究部会「新会計基準における簿記処理の検討」部会長岩崎健久先生（帝京大学）、⑤簿記実務研究部会「業種別簿記実務の研究」部会長成川正晃先生（高崎商科大学短期大学部）の2つの部会報告が行われました。いずれの部会報告も来年度の最終報告が楽しみとなる報告でした。その後佐藤信彦先生を司会として、統一論題「簿記の現代的課題－取引概念の拡大と簿記の役割－」報告として、①「簿記上の取引概念の拡大とその意義」山田康裕先生（立教大学）、②「現代の取引認識に関わる簿記

の役割」鶴池幸雄先生（沖縄国際大学）、③「簿記上の取引をめぐる諸問題」原俊雄先生（横浜国立大学）、④「簿記上の取引概念の拡大と簿記の財務会計化」清水泰洋先生（神戸大学）の4つの報告が行われました。いずれの報告も翌日の統一論題討論会で活発な議論が期待される内容でした。その後立教大学第一食堂において150名を超える参加者により懇親会が行われました。

9月1日には午前中に3会場で合計12の自由論題報告が行われました。第1会場では田中建二先生（明治大学）と中野常男先生（神戸大学）を司会として、生島和樹先生（横浜国立大学大学院）、丸岡恵梨子先生（中央大学大学院）、矢野沙織先生（佐賀大学大学院）、伊藤昭弘先生（佐賀大学）の報告が行われました。第2会場では、粕谷和生先生（横浜市立横浜商業高等学校）と梅原秀継先生（中央大学）を司会として、加藤美樹雄先生（神奈川県立小田原総合ビジネス専門学校）、加藤将貴先生（情報セキュリティ大学院大学）、張夏玉先生（明海大学非常勤講師）、中野貴元先生（株）ユビキタスの報告が行われました。第3会場では、高須教夫先生（兵庫県立大学）と齋野純子先生（甲南大学）を司会として、池田幸典先生（愛知大学）、二村雅子先生（小樽商科大学）、河合由佳理先生（駒澤大学）、岸川公紀先生（中村学園大学短期大学部）の報告が行われました。昼休み休憩後、佐藤信彦先生を座長に統一論題討論会が行われました。10名を超える質問があり活発に議論が行われました。

非常にタイトな日程の中、すべてのプログラムをほぼ時間通りに進めることができました。役員の方、先生方、今大会に報告・司会をしていただいた先生方はもとより参加・質問していただきました先生方に心よりお礼を申し上げて結びのことばとしたいと思います。

## 《賛助会員（出版社）の活動と会員の著書紹介》

賛助会員の活動の紹介として、今回は、森山書店、白桃書房、税務経理協会（2011年1月から2013年12月まで）を取り上げます。著作の執筆者は、我が学会の会員であることを条件としておりますので、所属していない執筆者は外しております。

### 【税務経理協会】

2011年1月以降刊行

#### ○簿記論〔六訂版〕

A5判 328頁 3,675円 2012年3月  
ISBN978-4-419-05070-2  
執筆会員：木下裕一

#### ○全国経理教育協会主催

#### 全経簿記能力検定試験 1級会計標準テキスト

全国経理教育協会【監修】/菱山淳【編】  
A5判 292頁 2,940円 2012年8月  
ISBN978-4-419-05719-0  
執筆会員：鶴池幸雄 木下貴博 清村英之 島本克彦 山田  
恵一 吉田智也 渡邊貴士

#### ○全国経理教育協会主催

#### 全経簿記能力検定試験 1級工業簿記標準テキスト

全国経理教育協会【監修】/高橋賢【編】  
A5判 248頁 2,520円 2012年8月  
ISBN978-4-419-05716-9  
執筆会員：大槻晴海 小川哲彦 飛田努

#### ○全国経理教育協会主催

#### 全経簿記能力検定試験 上級商業簿記・会計学標準テキスト

全国経理教育協会【監修】/石原裕也【編】  
A5判 272頁 2,730円 2012年8月  
ISBN978-4-419-05720-6  
執筆会員：神納樹史 関根慎吾 高橋聡 竹中徹 濱本明  
溝上達也 渡辺雅雄

#### ○全国経理教育協会主催

#### 全経簿記能力検定試験 上級工業簿記・原価計算標準テキスト

全国経理教育協会【監修】/高橋賢【編】  
A5判 264頁 定価 2,730円 2012年8月  
ISBN978-4-419-05715-2  
執筆会員：江頭幸代 中島洋行 望月信幸 諸藤裕美

#### ○簿記の基礎詳解〔三訂版〕

A5判 288頁 3,570円 2012年10月  
ISBN978-4-419-05908-8  
執筆会員：氏原茂樹

#### ○簿記原理〔第2版〕—日商簿記3級—

B5判 256頁 2,835円 2013年5月  
ISBN978-4-419-05875-3  
執筆会員：城冬彦

### 【森山書店】

2011年1月以降刊行

#### ○簿記入門

A5判 174頁 2,310円 2012年04月  
ISBN:978-4-839-42119-9  
執筆会員：陳忠徳

#### ○エッセンス簿記会計（第9版）

#### —初歩から納税申告書作成・財務諸表分析まで—

A5判 406頁 定価 2,940円 2013年04月  
ISBN:978-4-839-42128-1  
執筆会員 石原裕也 大野智弘 白木俊彦 関根慎吾 竹口  
圭輔 千葉啓司 徳田行延 中村亮介 西館司 西山一弘  
新田忠誓 船越洋之 古庄修 吉田智也 李精

### 【白桃書房】

2011年1月以降刊行

#### ○会计学・簿記入門（第11版）

A5判 325頁 3,150円 2012年04月  
ISBN:978-4-561-35199-3  
執筆会員：石原裕也 神納樹史 中村亮介 新田忠誓 溝上  
達也 村田英治 松下真也

#### ○公益社団法人全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験標準テキスト—3級商業簿記

全国経理教育協会【監修】/佐藤信彦【編著】  
A5判 262頁 2,000円 2012年05月  
ISBN:978-4-561-35196-2  
執筆会員：石山 宏 小野正芳 佐藤信彦 本所靖博

〔注〕会員の氏名掲載順序は「日本簿記学会名簿」に基づき、アイウエオ、正会員、準会員順になっております。

平成24年9月7日以降、平成25年8月29日までに申し込まれ、8月30日開催の理事会で入会が承認された新会員は以下の通りです。

### 入会会員名簿

(名簿の番号は会員番号)

番号	氏名	所属機関	番号	氏名	所属機関
2013-001	兵頭 和花子	兵庫県立大学経営学部	2013-016	永岡 誠	山形市立商業高等学校
2013-002	恵良 二郎	青森大学経営学部	2013-017	中井 雄一郎	熊本学園大学会計大学院
2013-003	小林 啓孝	早稲田大学	2013-019	安井 一浩	神戸学院大学
2013-004	田中 延幸	大阪学院短期大学	〈準会員〉		
2013-005	平野 智久	福島大学経済経営学類	2013-006	杉村 卓哉	東京理科大学大学院経営学研究科
2013-008	松本 ゆかり	帝京大学	2013-007	生島 和樹	横浜国立大学大学院
2013-009	稲山 訓央	北陸大学未来創造学部	2013-010	鈴木 浩二	四国大学大学院
2013-011	竹中 徹	石巻専修大学経営学部	2013-012	井上 和子	立教大学大学院ビジネスデザイン研究科
2013-013	河合 由佳理	駒澤大学経営学部	2013-018	高田 正彦	名古屋大学大学院経済学研究科
2013-014	山下 修平	秀明大学総合経営学部	2013-020	柳 綾子	成蹊大学大学院経済経営研究科
2013-015	諸藤 裕美	立教大学経済学部	2013-021	今西 義行	大阪学院大学大学院商学研究科

### 事務局からのお知らせ

- ・横山顧問からの寄付金は、日本簿記学会学会賞基金（安平基金）と合算し、日本簿記学会学会賞および奨励賞の支出に充てることとなりました。
- ・非会員向けの「日本簿記学会へのお誘い」が学会HPに掲載されています。会員を増加させるためにご活用ください。
- ・日本簿記学会年報を在庫限りではありますが、販売致します。会員・図書館には1,500円、非会員には2,500円となります。購入をご検討ください。
- ・学会HPを充実させるための取り組み（タイムリーな情報を伝える掲示板の設置や「大会の歩み」など）を行っています。
- ・簿記教育研究部会「大学における簿記教育の問題点の整理と対策案の提示」部会長：千葉啓司（千葉商科大学）と簿記実務研究部会「新会計基準における簿記処理の検討」部会長：岩崎健久（帝京大学）の中間報告は、学会HP（研究部会報告）に掲載されております。

(清水・中村・和田・渡邊・渡辺)

## 2月10日は 簿記の日です

福澤諭吉『帳合之法』の序文が明治6年2月10日に草されたのに因み、公益社団法人全国経理教育協会が、日本記念日協会に登録し、制定されました。

発行所  
編集兼  
発行人  
連絡事務所

日本簿記学会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-1-15

株式会社白桃書房

e-mail boki@hakutou.co.jp

URL <http://www.hakutou.co.jp/boki/>